

正月用品の価格見通しについて

千葉市では、年末年始に需要が増大する正月用品の価格動向について調査を実施し、結果がまとまりましたので、お知らせします。

1 趣 旨

本市では、年末年始に正月用品を中心に価格が高騰する例があるため、一般食品6品目、青果物15品目、水産物16品目の価格動向及び需給状況の見通しについて関係業界に対し調査し、市民への周知を行うものです。

2 調査実施状況

令和2年12月1日、3日に、関係者との面談等により調査を行いました。

品 目	調 査 対 象
一 般 食 品	市内卸売会社（1社）
青 果 物	市内卸売会社（1社）
水 産 物	市内卸売会社（1社）

3 概 要

品 目	概 要
一 般 食 品	新型コロナウイルス感染症の影響がどの程度出るのか未知数な部分はあるが、需要は昨年並みとなる見通しである。 全体的に価格は前年並みとなる見通しである。
青 果 物	新型コロナウイルス感染症の影響により、外食産業・業務用の需要が落ち込む一方、巣ごもり需要でスーパー等小売業向けの需要が増加している。 一部の品目で、生育が進んだことによる供給過多で安値となっているが、全体的には、今年は天候が安定していたため生産が順調で、おおむね平年並みの価格となる見通しである。
水 産 物	新型コロナウイルス感染症の影響により、外食産業・業務用の需要が落ち込む一方、海外では一部で漁業に携わる人員を確保するのが難しくなっている。 天然ものについては、多くの品目で漁獲量が減少している。 養殖ものについては、すでに生産されているものについては在庫過多になっているが、今後は人手不足により生産が減少し、価格の上昇が見込まれる。 全体的に価格は前年と比較し前年並み～高値のものが多くなる見通しである。

4 調査結果

この調査は千葉市内の卸売価格の見通しであり、小売価格にそのまま反映されることを想定しています。また、今後の気候要因等により価格が変動する場合があります。

(1) 一般食品

品 目	価格見通し (前年比)	概 要
栗 きんとん	前年並み	輸入物の栗のシェアが、韓国産から中国産に移行してきている。価格は前年並みとなる見通しである。
伊 達 巻 き	前年並み	昨年同様、小さめなサイズの商品が増えるなど、サイズ展開が豊富になっている。価格は前年並みとなる見通しである。
田 作 り (ごまめ)	前年並み	昨年同様、値上げはなく、価格は前年並みとなる見通しである。
青 海 苔	前年並み	需要に地域性が出る商品。価格は前年並みとなる見通しである。
は ば 海 苔	前年並み	需要に地域性が出る商品。価格は前年並みとなる見通しである。
黒 豆	前年並み	丹波産の「丹波の黒豆」(ブランド名)を使用した商品は高価であるが、全体として価格は前年並みとなる見通しである。

(2) 青果物

品 目	価格見通し (平年比)	主要産地	概 要
ほうれんそう	平年並み	千葉 茨城	生育は順調で、価格は平年並みとなる見通しである。
小 松 菜	平年並み	千葉 茨城	生育は順調で、価格は平年並みとなる見通しである。
白 菜	平年並み	茨城	生育は順調で、価格は平年並みとなる見通しである。
キ ャ ベ ツ	20% 程度安い	千葉 愛知	10～11月が温暖だったため、生育が進み出荷が前倒しとなっており、価格は平年の20%程度の安値となる見通しである。

品 目	価格見通し (平年比)	主要産地	概 要
レ タ ス	20% 程度安い	千葉	10～11月が温暖だったため、生育が進み出荷が前倒しとなっており、価格は平年の20%程度の安値となる見通しである。
長 ね ぎ	20% 程度安い	千葉	10～11月が温暖だったため、生育が進み出荷が前倒しとなっており、価格は平年の20%程度の安値となる見通しである。
ご ぼ う	30% 程度高い	青森	8～9月の日照不足や低温の影響で作況が不良なため、価格は平年の30%程度の高値となる見通しである。
里 芋	平年並み	千葉	生育は順調で、価格は平年並みとなる見通しである。
大 根	20% 程度安い	千葉 神奈川	10～11月が温暖だったため、生育が進み出荷が前倒しとなっており、価格は平年の20%程度の安値となる見通しである。
れ ん 根	20% 程度高い	千葉 茨城	8～9月の日照不足の影響で作況が不良なため、価格は平年の20%程度の高値となる見通しである。
人 参	平年並み	千葉	生育は順調で、価格は平年並みとなる見通しである。
生しいたけ	平年並み	千葉	施設内栽培のため出荷は安定しており、価格は平年並みとなる見通しである。
み か ん	平年並み	愛媛	生育は順調で、価格は平年並みとなる見通しである。
り ん ご (ふ じ)	平年並み	青森 秋田	生育は順調で、価格は平年並みとなる見通しである。
い ち ご	10% 程度安い	千葉 栃木	10～11月が温暖だったため、生育が進み出荷が前倒しとなっており、価格は平年の10%程度の安値となる見通しである。

(3) 水産物

品 目	価格見通し (前年比)	主要産地	概 要
まぐろ赤身 (冷 凍)	前年並み	大西洋 太平洋	人手不足による漁獲量の減少により、価格は高値であった前年並みとなる見通しである。
まぐろ赤身 (生)	前年並み	三陸	漁獲量は減少傾向だが、需要との兼ね合いで価格は前年並みとなる見通しである。
数 の 子	10% 程度高い	アメリカ ロシア	人手不足による操業減少により輸入原料が不足しており、価格は前年の10%程度の高値となる見通しである。
紅 さ け	20% 程度高い	ロシア アメリカ	ロシア産が不漁で減産しており、価格は前年の20%程度の高値となる見通しである。
い く ら	50% 程度高い	北海道 アメリカ	国産は秋さけが大不漁で、アメリカ産は人手不足による操業減少により、価格は前年の50%程度の大幅な高値となる見通しである。
か ま ぼ こ	前年並み	神奈川	原材料費が上昇し生産コストも高まっているが、需要減で価格に反映できず、価格は前年並みとなる見通しである。
干 し す る め	10% 程度高い	北海道	数年前からするめいかの不漁が続いており、材料が非常に少なくなっている。価格はここ数年高値を更新し続け、今年はさらに10%程度の高値となる見通しである。
い か (するめいか)	前年並み	北海道 青森	数年前からするめいかの不漁が続いており、価格はここ数年高値を更新し続けているが、今年は高止まり、価格は前年並みとなる見通しである。
ず わ い が に (冷凍)	10% 程度高い	ロシア	漁獲量の減少と、和食ブームによる他国の需要の増加により日本への入荷が減少しており、価格は前年の10%程度の高値となる見通しである。
た ら ば が に (冷凍)	10% 程度高い	ロシア	漁獲量の減少と、和食ブームによる他国の需要の増加により日本への入荷が減少しており、価格は前年の10%程度の高値となる見通しである。
た ら ば が に (生) (活)	10% 程度高い	ロシア ノルウェー	漁獲量の減少と、和食ブームによる他国の需要の増加により日本への入荷が減少しており、価格は前年の10%程度の高値となる見通しである。

品 目	価格見通し (前年比)	主要産地	概 要
海 老 (有頭)	5% 程度安い	東南アジア 各地	大半が養殖のため、需要減による在庫過多で、価格は前年の5%程度の安値となる見通しである。
海 老 (無頭)	5% 程度安い	東南アジア 各地	大半が養殖のため、需要減による在庫過多で、価格は前年の5%程度の安値となる見通しである。
た こ (生)	5% 程度安い	北海道 モーリタニア セネガル	天然ものが豊漁で、アフリカで去年の2.5倍の漁獲量となっている。価格は前年の5%程度の安値となる見通しである。
た こ (酢だこ)	前年並み	北海道	国内産は小型が少なく、大型中心の入荷となっている。価格は前年並みとなる見通しである。
昆 布	前年並み	北海道	北海道産昆布の不漁により、ここ数年価格は高値を更新しているが、今年は高止まり、価格は前年並みとなる見通しである。